



9/15

## 誰でも気軽に寄れる居場所を作りたい 地域の居場所「こかげ」オープン（府屋集落）



▲「こかげ」の内装

フードバンクさんぽくでは、府屋集落で以前、駄菓子屋を営んでいた空き家を改修して、地域の居場所「こかげ」をオープンしました。

中には、椅子、テーブル、黒板などが設置されているほか、駄菓子屋スペースもあり、どこか懐かしい空間となっています。

子どもから大人まで誰でも利用できる地域の居場所として、また、フードバンクさんぽくの活動拠点などとしても活用していくそうです。

代表の工藤さんは、「誰でも気軽に立ち寄り、おしゃべりしたり、本を読んだり、バスの待ち時間を過ごしたりできる場所になれば」と語っていました。

9/16

## 長年にわたる森林整備活動が評価される 国土交通省「水資源功績者表彰」を受賞（さけの森林づくり推進協議会）

「水の日」である8月1日、国土交通省の「水資源功績者表彰」で、さけの森林づくり推進協議会が表彰を受けました。

同協議会は長年にわたり、さまざまな関係機関と連携を図り、三面川源流部のブナ原生林における森林整備活動を行い、鮭の稚魚の成育に欠かせない水源林の整備や管理を行ってきました。

今年度は道路災害により活動は中止になりましたが、これからも森林整備のほか、長期的な視点による教育活動にも積極的に取り組んでいくそうです。



▲表彰式は中止でしたが賞状が届けられました

9/20

## 来年への希望を込めて、海岸清掃 ビーチクリーン作戦（瀬波温泉海岸）



▲砂浜のゴミを拾い集める参加者

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今年度中止となった「村上・笹川流れ国際トライアスロン大会」の代替イベントとしてビーチクリーン作戦が行われました。

当日は、県内の一般ボランティアやスタッフなど約80人が、大会のスタート会場である瀬波温泉海岸に集まり、砂浜などの海岸清掃を行いました。

今年は残念ながら中止となった大会ですが、来年こそはキレイになったこの砂浜で大会が開催できるよう願っています。

9/26

## 明日への希望を託して 「にいがた 希望の花火」打ち上げプロジェクト！（荒川河川敷）

新潟日報主催の「にいがた 希望の花火」が県内7カ所をリレーして打ち上げられました。

打ち上げ会場の一つとなった村上市では、荒川河川敷で午後8時30分から約3分間、花火が夜空を明るく染めました。

打ち上げ場所は新型コロナウイルス感染対策のために事前の公表はせず、打ち上げ映像をインターネットで配信しました。

来年の夏こそは市民の皆さんと「村上市花火大会in清流あらかわ」で夏の夜空に輝く花火を楽しみたいと願っています。



▲医療従事者への感謝を示す青色の花火

## 10/1 たかねびと募集開始！ 高根コミュニティラボあら（高根集落）

高根コミュニティラボあらの事業として「たかねびと」の募集が始まりました。

これは、高根集落と高根集落を応援してくれる人たちの気持ちを繋いでいこうという事業で、「びと費（年会費）」を払い、宿泊割引券や棚田米、高根暮らしのミッションチケットを受け取ることができる仕組みです。

ミッションへの参加や貢献度に応じ「たかねびとレベル」が上がり、レベルに応じた特典も用意されているとのこと。

集落独自で行う関係人口創出の取り組み。興味のある人はぜひご覧ください。



HP関連ページ



▲独自の地域活性化モデルがスタート

## 10/3 仲間と励まし合い、笑顔でゴール！ 神林中学校ウオークラリー（神林地域）



▲トップでゴールした生徒は、3時間かからずに神林中学校へ到着しました

神林中学校で、地区内に設定された約16kmのコースを歩くウオークラリーが開催され、全校生徒と希望した保護者の方たちが参加しました。

前日から地域内で熊の目撃情報が相次ぎ、危険箇所を通過しないコースへと急きょ変更。お幕場の駐車場を午前9時前にスタートし、塩谷集落の町屋を通り抜け、清流荒川を横に見ながら、ゴールとなる神林中学校を目指しました。

ゴール地点では、励まし合った仲間と手をつないでゴールする生徒も…。参加した生徒は、自分の足で歩き切った達成感に満ち溢れた表情をしていました。

## 10/9 「荒川サケ」を守り継ぐ 荒川でサケ釣りが解禁（清流荒川）

荒川のサケ釣りは、荒川に生息する荒川サケの生態や利用方法を調査研究するため「荒川サケ有効利用釣獲調査」として実施されています。

10kg級の大型サケを狙い、毎年全国各地から2千人を超える釣り人が荒川に集結し、12月中旬まで、とにかく豪快な釣りを楽しみます。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての実施となりますが、釣り人たちは、清流荒川の恵みを思う存分に楽しんでいました。



▲今シーズン初物の荒川サケ

## 10/11 地区の歴史や北前船について学ぶ 塩谷の歴史を学ぶ会（塩谷集落）



▲慣れないハケを使って、子どももお手伝い

塩谷地区の歴史を学ぶ会実行委員会が主催の「塩谷の歴史を学ぶ会」が行われました。

雨天により2週遅れでの開催となりましたが、当日は、集落内最高齢の板垣ヤイさん（102歳）を含む約40人が参加。協議会の柏檜洋平会長から塩谷集落の歴史（北前船資源）の講話に続き、集落の約50戸に今も残る「出格子」の塗装作業を行うなど、老若男女がそろって賑やかなイベントとなりました。

7年ぶりに塗装された出格子。ご覧になりたい人は、ぜひ塩谷集落までお出でください。